

## 近現代史(35) アジア諸国の改革と民族運動②「韓国併合／辛亥革命」

○今回のポイント

### 【日本の韓国併合】

#### (1)近代日本の産業構造

- ①[1. \_\_\_\_\_]の発展
- ・日清戦争前後、繊維産業の機械化 → 欧米への[2. \_\_\_\_\_]輸出、中国への[3. \_\_\_\_\_]輸出
- ②日本の近代産業の特徴
- ⇒ [4. \_\_\_\_\_]
- ・国内市場が狭い・・・ ⇒⇒国外市場の拡大&軍事的拡張政策 ⇒⇒ 朝鮮半島進出

#### (2)韓国併合

- 1897 [5. \_\_\_\_\_]
- ↓ →中国の冊封体制から脱却し、自主独立国であることを示すために改称。高宗は自ら皇帝に即位した。
- 1898 [6. \_\_\_\_\_]がロシアの影響力増大に反対し、中枢院などの国制改革を要求する
- ↓ → 高宗、独立協会を弾圧し、勅令により強制解散。(一橋大学 2013 大問Ⅲより)
- 1904 [7. \_\_\_\_\_]勃発！
- ・[8. \_\_\_\_\_]・・・日露戦争勃発直後、日本軍が韓国全土を保護占領。
- ↓
- ・[9. \_\_\_\_\_]・・・重要な外交問題について日本との事前協議を約束
- ↓
- 1905 [10. \_\_\_\_\_]・・・ソウルに[11. \_\_\_\_\_]設置(初代統監：伊藤博文)
- ↓
- 1907 [12. \_\_\_\_\_]…高宗皇帝がオランダのハーグの第二回万国平和会議に密使を派遣！
- ・高宗を退位させ[13. \_\_\_\_\_]・・・韓国内政をも統監府の監督に置き、韓国軍を解散させる。
- ↓
- ・[14. \_\_\_\_\_]!・・・日本の干渉と圧迫に対抗して闘争。
- ↓
- 1909 [15. \_\_\_\_\_]暗殺事件・・・義兵の[16. \_\_\_\_\_]が満州のハルビン駅で初代韓国統監：伊藤博文を暗殺。
- ↓
- 1910 [17. \_\_\_\_\_]…ソウルに[18. \_\_\_\_\_]を置き、**武断政治**を展開(初代総督：寺内正毅)

①憲兵・警察制度を整備し、韓国民衆の抵抗を抑圧。

②[19. \_\_\_\_\_]を実施して、所有権の明確でない土地を没収し、日本人に安く払い下げる。

→【経済史的意義】土地を喪失した多くの朝鮮人農民が日本に流入して、日本資本主義を支える低賃金労働者となる。

【辛亥革命】

(1)-1 [20. ] ※[21. ]を中心とする清朝保守派による延命措置

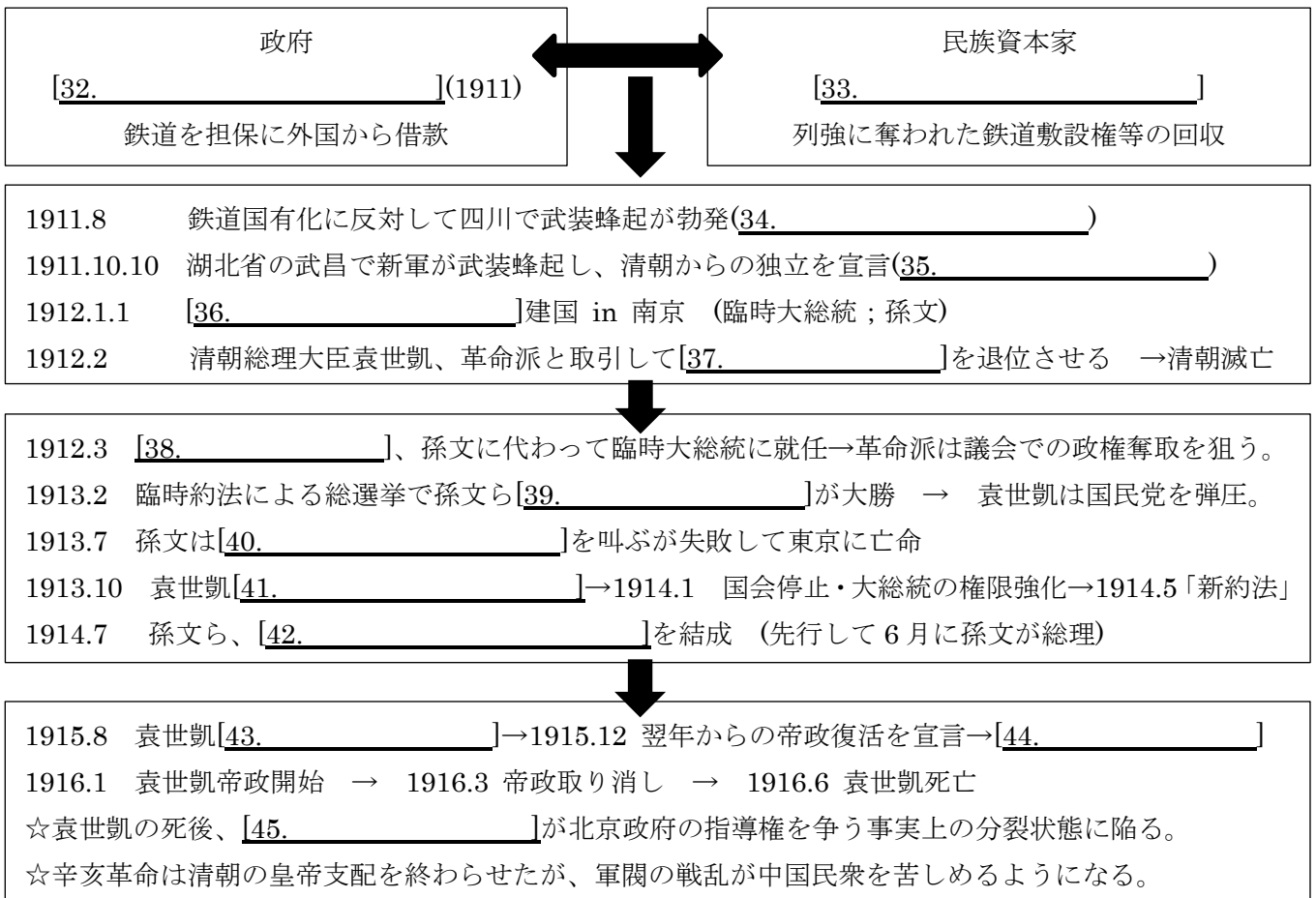
○かつて西太后自身が葬り去った変法運動(立憲君主政)に沿って行われる。  
 ↓・[22. ]の廃止、大日本帝国憲法を模範とする憲法大綱、国会開設の公約、袁世凱による新軍  
 ○1911年 責任内閣制が施行 →その構成は満州人皇族・貴族などが多数を占める  
 ・**清朝朝廷が約束した立憲政治が、結局は皇帝専制政治の延命のための手段にすぎないことを暴露。**  
 ・民衆や国政改革に真剣な努力を続けてきた立憲派の人々にも深い失望。

(1)-2 [23. ]

○孫文ばらばらであった革命諸団体の結集をはかり、日本の[24. ]で中国同盟会を組織。  
 ・孫文が[25. ]で組織した[26. ]、章炳麟の光復会、黄興の華興会が結集。  
 ・[27. ](孫文が提唱した中国革命の基本理念)と[28. ](実践プログラム)

29.	30.	31.
驅除韃虜 (満州族の清朝打倒)	恢復中華 (漢民族による中国)	創立民国 (共和国の樹立)
		平均地権 (土地所有不平等の是正)

(2) 辛亥革命



(4) 辛亥革命と旧清朝領域

■1911 辛亥革命  
 →1911 外モンゴルで独立宣言・1913 チベットで[46. ]が独立を主張 → 失敗  
 ■1920[47. ]結成 (スヘ=バートル&[48. ])  
 →ソ連の[49. ]の援助を受けて立ち上がり独立戦争を展開、21年に独立を達成。  
 ■1924 [50. ]成立 史上2番目の社会主義国となる。